

平成 30年 3月23日

3月号-② (No.2914)

美中通信

《学校教育目標》

努力 協力 人間力

健康で、自ら学び、考え、努力する生徒を育てます。【知】【体】

互いに思いやり、協力し合い、自他を尊重できる生徒を育てます。【徳】【公】【関】

横浜市立美しが丘中学校

学校長 高橋 和則

学校 HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/utsukushigaoka/>

学校 e-mail y2utsukus@edu.city.yokohama.jp

Tel 901-6758 Fax 904-1623

卒業

第39回 卒業証書授与式 にあたって

3/9(金)、来賓の方々、保護者の皆さまに見守られる中、
98名の卒業生が本校を巣立ちました。

ご卒業、おめでとうございます。

卒業証書

【学校長式辞】

昨日からの雨は、花が早く咲くよう催促する催花雨（さいかう）」と言うそうで、木々や草花の生育を促す天からの恵みの雨でもあります。今は、雨もあがり、寒さも和らぎ、春の訪れを感じられこのよき日に、卒業を迎えられた緑学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。教職員を代表して、お祝いを申し上げたいと思います。



ただいま、その証として卒業証書をお渡ししましたが、この喜びは卒業生皆さんのたゆまぬ努力の結果であることは言うまでもありません。しかしながら、皆さんのことを絶えず気づかいながら、支えてくださったご家族と周囲の方々の励ましの賜物であることも、決して忘れないで頂きたいと思います。

さて、本日までの3年間は、楽しかっただけではなく、苦しさや辛さも時にはあったことと察します。この3年間、美中の学舎で、学習や、委員会活動、部活動と全力で取り組み、学校教育目標通り、努力し、協力し、自分や周りの人をリスペクトする、そして何よりも、充実した中学校生活を積み重ねてくれたことを私は心から誇りに思います。先日配布されました卒業アルバムには、たくましく成長し、明るく学校生活を送る、笑顔いっぱいのページがしるされていたのを見ますと、皆さんも感無量になるものがあったのではないのでしょうか。皆さんのリーダーシップと献身的な協力、そして感動を共有できた数々の行事、心のこもった挨拶など、様々な場面で後輩の模範となって取り組まれたことは、人間力を高め、本校の歴史に新たな光をもたらし、更なる飛躍の一步をしるしてくれたことと感謝いたします。

ところで、今日、皆さんが踏み出そうとしている社会は、ご存知のように、急速に変化しています。科学技術の発展により、人工知能AIをはじめ、ロボット工学や自動化など生活の利便性が向上する一方で、情報化・国際化による競争が激化するなど、グローバル化、ボーダレス化など変化の激しい難しい時代でもあります。そして、そこに暮らす人々は、かつて経験したことのない新しい場面を乗り越えていかなければならないことと思いますが、必ずしも順風満帆ばかりでなく、むしろ社会の変化による困難さを抱えることも多々あることでしょう。「禍福（かふく）は糾（あざな）える縄のごとし」という言葉があります。これは災いも成功も、縄を寄り合わせたように、表裏一体で、代わるがわるやってくるものだとの意味ですが、一時の成功に浮かれ、判断の誤りをする人もいますし、また、失敗を教訓として逆境を乗り越え、自らの心や能力を高め、人生を豊かに過ごす人もいます。

でしょう。歴史が物語るように、さまざまな困難や課題に対して真剣に向き合い、生きる道を探り続けることこそが、先人たちが歩んできた道であり、そして、その際の道しるべとなるのが知識でもあります。未来へ進む新たなスタートラインに立っている皆さんには、苦難の中でも、勇気をもって挑んでほしいと願う次第です。

そこで、力強く生き抜くための餞（はなむけ）の言葉として3点ほど伝えたいと思います。

まず、1点目の餞（はなむけ）のことばは、「**探究心をもって挑戦すること**」です。3年前の入学式では、物理学者アインシュタインの言葉「学べば学ぶほど、自分が何も知らなかった事に気づく。気づけば気づくほどまた学びたくなる。大切なのは疑問を持ち続けること」という言葉を伝えました。なぜだろう？、どうしてそうなるのだろう？ という疑問の声は、皆さんの成長を促しますし、3年間でこの言葉の重みも実感したことと思います。メジャーリーガー、ジャッキー・ロビンソンという野球選手は、「不可能の反対語は可能ではない。挑戦だ。」ということばを残していますが、今までの殻にとらわれず、どんなことから学ぶ姿勢を常に持ち、調べる、実験するなど、ぜひ行動をおこすことをしてください。そして迷った時こそ、「自分はその場から逃げているか？」自問自答してみてください。きっと、心の声が聞こえたとともに、新たな道が開かれると信じています。

2点目は、修学旅行先の青蓮院（しょうれんいん）で学んだ「**大切な5つの心**」を持ち続けてください。「**はい**」という素直な心、「**すみません**」という反省の心、「**おかげさまで**」という謙譲の心、「**させていただきます**」という奉仕の心、「**ありがとうございます**」という感謝の心 の5つです。もちろん、覚えていることと思います。素直、自省、謙虚、奉仕、感謝の5つの心が、これから生きていく上で、人と関わりをもつ上で、いくつになっても大きな支えになってくれます。ぜひ、心に留めておいてください。



3点目は、**ファーストペンギンを目指しましょう**です。ペンギンは面白い習性があり、群の中の一匹が海に飛び込まない限り、他のペンギンたちは氷の上に留まったまま動かないそうです。

どんな危険があるか分からない海の中に最初に飛び込むのは大変勇気のいることで、餌となる魚がたくさんいるかもしれませんが、シャチなどがいて食べられてしまうかもしれません。そういう群れの中で、勇気を出して、最初に海に飛び込むペンギンのことをファーストペンギンと呼びます。つまり、リスクを恐れず、勇気を持って新しいことにチャレンジする人のことを、アメリカでは敬意を込めて、ファーストペンギン言います。危険だが餌が多い海に真っ先に飛び込む「ファーストペンギン」になるか、安定志向の「セカンドペンギン」になるか、長い人生の中では、きっと迷う場面に遭遇することも今後ありえるでしょう。しかし、皆さんには、それまで得た知識をフルに活用できる力が、きっと備わっていることと思いますので、ぜひとも時代をリードするパイオニアの「ファーストペンギン」であってほしいと思います。

4月より始まる新たな生活スタイルでは、期待と不安が入り混じると思いますが、「**探究心**」と「**大切な5つの心**」をもって「**ファーストペンギン**」を追い求めてください。そんな人生を歩んでくれる、美中卒業生であることを願っています。

名残は尽きませんが、巣立ちゆく皆さんの御健勝、御多幸と一層の御活躍を心から祈念し、私の式辞といたします。



修了式(3/23)での話より

校長 高橋 和則

今週は、三寒四温の言葉どおり寒暖の差が激しい日々ではありましたが、ここ横浜でも桜(ソメイヨシノ)の標本木が開花したとの発表(横浜地方気象台)がありました。昨年より6日早く、平年より7日早い開花ですが、徐々に暖かくなってきますので、2週間後に行われる入学式(4/5)まで桜が咲き誇ってもらえるか、やや心配なところでもあります。



まずは、三送会、卒業式、そして昨日の大掃除と、1年生、2年生の皆さんの活躍、努力に心より感謝いたします。おかげさまで、学校全体が綺麗になり、それぞれ進級する学年、そして新1年生を迎える準備ができました。

さて、修了式後には学校生活の状況や応援メッセージを書いた連絡票を担任から手渡されます。最初に立てた目標に対し結果はどうだったのか、明日(3/24)から4/4までの春休み(12日間)を利用し、振り返り(リフレクション)を必ずしてみてください。振り返ることで、次の学年に向けた改善点を明らかにすることができます。最近では、振り返りツールとして数々のフレームワーク(考えるポイントを時間をかけずに導き出す方法)がありますので、参考にされるのもよいでしょう(例; YWT、KPT、ORID、…etc)。

さて、4月より各学年進級しますが、最高学年となる新3年生は、自分の行動に責任と誇りをもって、学習や運動に神経を研ぎ澄まし、来る(きたる)べき時期には最高の結果が出せる、そんな学年であってください。新2年生は、中学校生活にも慣れ、つい生活態度が緩みがちになる学年とよく言われますが、努力しだいで大きく飛躍できるチャンス of 学年でもあります。目標を見失うことなく、気持ちを引き締め、油断せぬよう集中力を高め取り組んでください。

Y	やったこと
W	わかったこと
T	次にやること

K	Keep	(よかったこと)
P	Problem	(問題だったこと)
T	Try	(次にやりたいこと)

O	Objective Q	(何に注目していたか)
R	Reflective Q	(自分には、どんな反応があったか)
I	Interpretive Q	(自分には、どんな意味があったか)
D	Decisional Q	(今後どんなことが必要か)

ところで、「百聞不如一見(百聞は一見にしかず)」という諺、耳にしたことがあると思います。「～にしかず」は「及ばない、かなわない」という意味で、人から何度も聞くよりも、実際に自分の目で確かめた方がよい、人から聞いて知ったつもりになるのではなく、自分の目で確かめなさいといった戒めの意味も含んだ言葉です。中国のある逸話から出た言葉ですが、この諺には次のような言葉がその後に追加されて残っています。

■百見不如一考(百見は一考にしかず)

たくさん見ても、それを基に自分で考えなければ意味がない

■百考不如一行(百考は一行にしかず)

いくら考えても、それを実行に移さなければ意味がない

■百行不如一効(百行は一効にしかず)

いろいろと行動を起こしても、成果を出さなければ意味がない

■百効不如一幸(百効は一幸にしかず)

いくら成果があがっても、それが幸せにつながらなければ意味がない

■百幸不如一皇(百幸は一皇にしかず)

いくら(個人が)幸せになっても、周りが幸せになるものでなければ意味がない

情報化時代に生きる私たち、今は居ながらにして世界中の出来事を見聞きし、考えることもできますが、そこで終わってしまうことが少なくありません。見聞⇒考慮⇒行動⇒成果⇒一人の幸せ⇒みんなの幸せへとつながるような大きな志をもって、次年度も飛躍する、ともに学びあう、一年にしていきたいと思います。

今年度の美中通信は、今回で終了となります。ご愛読(?)いただき、感謝申し上げます。

平成30年度 4月

横浜市立美しが丘中学校

日	曜	授業						昼食	部活	特別活動 生徒関係行事	職員関係 PTA・その他	カウンセラー	清掃
		1	2	3	4	5	6						
1	日									春季休業			
2	月												
3	火								×	生徒活動なし(1日)			
4	水								AM ×	生徒活動なし(AM)			
5	木	着任式 始業式	学活	入学式準備	入学式	学活		×	14:30 再	着任式・始業式 第40回入学式	1年保護者会		×
6	金	離任式	学活	学活	学活			×		離任式 新入生歓迎会リハーサル			簡
7	土												
8	日												
9	月	新入生歓迎会	学活	学活	学活00			■	×	新入生歓迎会 学級写真撮影(5校時)			普
10	火	身体計測	学活	1	2	3		■		身体計測(1校時) 部活動見学(16:00まで)	2・3年保護者会15:10		簡
11	水	7	8	9	10	11		■		教育相談① 部活動見学(16:00まで)			普
12	木	12	13	14	15	16		■		教育相談② 部活動仮入部期間(20日まで)			普
13	金	17	18	19	20	総合		■		教育相談③			普
16	月	道徳	4	5	6	1		■		教育相談④	PTA合同常任委員会10:00		普
17	火	1年校外学習						■		3年全国学力学習状況調査 1年校外学習			普
		7	8	9	10	11	12						
		3年全国学力学習状況調査											
18	水	21	22	23A	24A	25A	26	■					普
19	木	13	14	15	16	17	総合	■		内科検診① 専門委員会15:55			普
20	金	2	3	4	5	6		■			学校説明会14:55 部活動保護者説明会		簡
21	土												
22	日												
23	月	道徳	18	19	20	7		■	×	部活導入部届出期間(~27日まで)			普
24	火	8	9	10	11	12		■					普
25	水	1	2	3	4	5	6	■		尿検査(一次) 評議会15:55	PTA実行委員会10:00		普
26	木	21	22	23B	24B	25B	26	■		内科検診② 体育大会実行委員会15:55 部活動実行委員会15:55			普
27	金	13	14	15	16	17	避難訓練	■		避難訓練 一斉下校17:00			普
28	土												
29	日									昭和の日			
30	月									振替休日			

最終下校時間 6時00分

授業日数 17 日

【5月の主な予定】

7日~12日 授業参観週間

1日 朝会(認証式)

部活動集会

7日 専門委員会

8日 体育大会・部活動
実行委員会

13日

土曜参観

保護者懇談会

14日

土曜授業代休

15日

眼科検診

16日

市総合体育大会開会式

17日

2年校外学習

5月9日・10日

17日~19日

修学旅行

21日

修学旅行代休

24日

体育大会学年練習

24日

評議会

29日

心電図検査

30日

歯科検診

【5月の昼食なし】